

平成30年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月31日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3329 URL http://www.towafood-net.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)岸野 禎則
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部部長 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の業績(平成29年5月1日～平成29年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	2,743	3.8	194	63.8	199	64.7	171	118.5
29年4月期第1四半期	2,644	0.5	118	△37.4	121	△37.5	78	△32.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	42.53	—
29年4月期第1四半期	19.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第1四半期	7,003	4,876	69.6
29年4月期	7,062	4,737	67.1

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 4,876百万円 29年4月期 4,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	8.50	—	8.50	17.00
30年4月期	—	—	—	—	—
30年4月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,511	4.3	306	39.6	316	39.4	180	26.5	44.48
通期	11,200	3.8	710	33.2	730	32.0	425	127.0	105.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年4月期1Q	4,093,200株	29年4月期	4,093,200株
30年4月期1Q	58,302株	29年4月期	58,302株
30年4月期1Q	4,034,898株	29年4月期1Q	4,075,898株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(修正再表示)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成29年5月1日～平成29年7月31日)における我が国経済は、企業収益ならびに雇用・所得環境の改善等により、緩やかな景気回復基調が継続しております。一方で米国政権の政策運営やアジア地域を巡る地政学的リスクの高まり等により、海外経済は先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、個人消費には持ち直しの動きが見られましたが、原材料単価の上昇、人口減少に伴う市場規模の縮小、若年労働力不足などの課題を抱えており、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、当社におきましては売上高が7月まで11ヶ月連続で前期をクリアしております。昨年不振であった「イタリアンダイニングドナ(スバゲッティ食堂ドナより改称)」「ばすたかん・こてがえし」で行っている毎月第2・第3火・水・木曜日開催の「お得な6日間」にて客数回復に努め、客数が戻った段階で売上向上策としてメニュー政策をさらに強化。ダイニングにふさわしいディナータイムでお酒に合うステーキの開発を中心に、WEB販促もグループ客の取り込みに効果を発揮いたしました。

カフェカンパニーでは毎月20日の「チョコの日」、ダイニングカンパニーでは毎月29日の「肉の日」など、来店動機を刺激するイベントの展開に加え、楽天市場における椿屋珈琲ギフトのインターネット販売、珈琲豆や焼き菓子、ドレッシング等の店舗外販売も順調に伸びております。

さらに「健康・美味」を具現化し、国産野菜・湘南鎌倉野菜をふんだんに使用し、美味しさの秘訣であるコクのある新商品を開発。野菜たっぷりスバゲッティの開発に加え、1日に必要と言われる350グラムの野菜が摂取できるプレミアムお好み焼き、アングス牛の希少部位であるカイノミステーキの量り売りなど、新たな価値を訴求する新メニューを投入して“鉄板ステーキ・お好み焼き”をショルダーに掲げた「錦糸町こてがえし」も好調なスタートをきっており、第2四半期にも勢いもついております。今期は2桁の新規出店が見えてきておりますので、不採算店の閉店も積極的に行いながら、上場来最高益、高利益企業を目指します。

以上の結果、第1四半期累計期間の売上高は27億43百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は1億94百万円(同63.8%増)、経常利益は1億99百万円(同64.7%増)、四半期純利益1億71百万円(同118.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて98百万円増加し、22億51百万円となりました。これは、現金及び預金が1億47百万円増加したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億57百万円減少し、47億52百万円となりました。これは、土地が1億79百万円減少したことなどによりです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて58百万円減少し、70億3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて1億59百万円減少し、13億49百万円となりました。これは、未払費用が92百万円、未払法人税等が33百万円、それぞれ減少したことなどによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて37百万円減少し、7億78百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億97百万円減少し、21億27百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億38百万円増加し、48億76百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月29日に公表いたしました、平成30年4月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,492,744	1,640,267
売掛金	103,803	98,129
SC預け金	280,090	261,362
商品及び製品	34,197	34,508
原材料及び貯蔵品	82,995	77,388
前払費用	119,735	100,284
繰延税金資産	34,419	34,419
その他	5,001	5,053
貸倒引当金	△431	△401
流動資産合計	2,152,557	2,251,011
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	974,270	972,585
工具、器具及び備品(純額)	255,129	277,848
土地	1,118,599	939,000
リース資産(純額)	192,324	171,405
その他(純額)	77,284	85,897
有形固定資産合計	2,617,608	2,446,737
無形固定資産		
投資その他の資産	20,623	20,587
長期前払費用	27,323	24,371
繰延税金資産	233,349	232,893
差入保証金	460,909	460,309
敷金	1,508,872	1,524,701
その他	41,500	43,216
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,271,951	2,285,489
固定資産合計	4,910,184	4,752,814
資産合計	7,062,741	7,003,826

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,722	248,929
1年内返済予定の長期借入金	42,860	42,860
1年内償還予定の社債	210,000	210,000
リース債務	89,456	86,318
未払金	402,769	452,450
未払賞与	102,408	-
未払費用	134,947	42,301
未払法人税等	135,922	102,762
未払消費税等	116,316	90,952
預り金	27,197	17,378
賞与引当金	-	53,818
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,509,645	1,349,817
固定負債		
長期借入金	171,410	160,695
リース債務	127,055	108,411
退職給付引当金	296,544	287,350
資産除去債務	199,846	200,564
その他	20,984	20,984
固定負債合計	815,841	778,006
負債合計	2,325,486	2,127,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	3,469,074	3,606,266
自己株式	△100,331	△100,331
株主資本合計	4,725,092	4,862,285
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,161	13,717
評価・換算差額等合計	12,161	13,717
純資産合計	4,737,254	4,876,002
負債純資産合計	7,062,741	7,003,826

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	2,644,064	2,743,413
売上原価	695,050	721,542
売上総利益	1,949,014	2,021,871
販売費及び一般管理費	1,830,366	1,827,473
営業利益	118,648	194,397
営業外収益		
受取利息	38	26
受取配当金	393	194
受取家賃	6,695	6,867
その他	1,027	1,526
営業外収益合計	8,155	8,616
営業外費用		
支払利息	2,151	1,012
不動産賃貸原価	1,623	1,272
その他	1,641	792
営業外費用合計	5,416	3,077
経常利益	121,386	199,936
特別利益		
固定資産売却益	-	63,420
その他	-	770
特別利益合計	-	64,191
特別損失		
固定資産除却損	604	1,651
特別損失合計	604	1,651
税引前四半期純利益	120,782	262,476
法人税等	42,260	90,887
四半期純利益	78,521	171,589

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。